

序

小児の急性白血病や悪性リンパ腫の治療成績は、近年大きく向上してまいりました。この向上には、治療法の進歩が大きく貢献してきたことはもちろんですが、一方でがんそのものによる症状や化学療法に伴う有害事象に対する理解と対応、すなわち支持療法の進歩も大きな役割を果たしています。

小児白血病研究会 (JACLS) では、この小児血液悪性腫瘍性疾患における支持療法の重要性を鑑みて、1996年の発足当初から支持療法小委員会を立ち上げ、支持療法に関わる様々な問題の実態把握や、その予防と治療についての情報発信などを行ってまいりました。そしてこのたび、歴代の支持療法小委員会の皆様がJACLS参加施設の先生方と育ててきた『JACLS支持療法マニュアル』が、『小児がん支持療法マニュアル』としてリニューアルされ上梓されました。

本書は、小児血液悪性腫瘍性疾患の多忙な臨床の現場において、日々直面する支持療法に関連した問題の解決に役立つ情報を提供することを目的に、長年に渡る支持療法小委員会の活動の積み重ねをもとに作成されました。内容は、感染対策や輸血から食事や緩和ケアに至るまで支持療法の重要な項目について幅広くカバーされており、読んで分かりやすく実践的なマニュアルとしてまとめられています。

また本書は、本邦の小児医療の現場から作成された支持療法に特化したマニュアルである点に加えて、ポケット版として携帯しやすいように作成された点も大きな特徴としてあげられます。病院内を気軽に持ち歩いてほしい、そして疑問に思ったことを速やかに確認するときに役立ててほしいといった、委員会の皆様の願いがポケット版に込められています。本書が小児血液悪性腫瘍性疾患に関わる医師をはじめ医療スタッフの方々に利用され、病気と戦う子どもたちのために役立つことを期待いたします。

序

最後に、本書の出版にあたりマニュアルの作成と執筆にご尽力いただいた歴代のJACLS支持療法小委員会の皆様、「疼痛の管理」の項を執筆していただいた大阪市立総合医療センターの多田羅竜平先生，そして医薬ジャーナル社の辻子健司氏に深謝いたします。

2016年11月

宮城県立こども病院 血液腫瘍科部長
佐藤 篤